

衆議院内閣委員会ニュース

平成 22.4.22 第 174 回国会第 9 号

4 月 22 日（木）第 9 回の委員会が開かれました。

- 1 国家公務員法等の一部を改正する法律案（内閣提出第32号）
国家公務員法等の一部を改正する法律案（塩崎恭久君外 4 名提出、衆法第 9 号）
幹部国家公務員法案（塩崎恭久君外 4 名提出、衆法第 10 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）政策研究大学院大学教授	飯尾 潤君
東京新聞論説委員	長谷川 幸洋君
拓殖大学名誉教授	田中 一昭君
専修大学大学院法務研究科（法科大学院）教授	晴山 一穂君

（質疑者及び主な質疑内容）

後藤 祐一君（民主）

- ・政府案と対案における内閣人事局への人事行政機能の移管の考え方について、田中参考人及び飯尾参考人の見解を伺いたい。
- ・内閣による恣意的な幹部人事を排除できるのは、政府案と対案のいずれであるか、田中参考人の見解を伺いたい。
- ・政務三役が幹部公務員を活かすにはどのようにしたらよいか、飯尾参考人の見解を伺いたい。

井上 信治君（自民）

- ・民主党マニフェストで明記されている公務員人件費の 2 割削減はできるのか、長谷川参考人及び田中参考人の見解を伺いたい。また、そのなかで、「地方移管」には削減効果があるのか、田中参考人の意見を伺いたい。
- ・政府案によって、天下りは根絶できるのか、長谷川参考人の見解を伺いたい。

大口 善徳君（公明）

- ・幹部人事の弾力化について、職制上の段階を同一とみなす政府案、課長級の官職まで特別降任できる対案、従来の職制上の段階を維持しつつ降任できる制度とする公明党の考えについて、田中参考人及び飯尾参考人の見解を伺いたい。
- ・天下りを禁止し、かつ早期退職勧奨を容認するのは矛盾だと思うが、飯尾参考人の見解を伺いたい。

- ・政府案の民間人材登用・再就職適正化センターを常設化する必要があるのか。また、政府案や対案で、天下りや裏下りを根絶することができるのか。長谷川参考人、田中参考人及び飯尾参考人の見解を伺いたい。

塩川 鉄也君（共産）

- ・自衛隊の若年定年等隊員の再就職について事前規制ではなく行為規制とすることの妥当性、また、若年定年等隊員の再就職監視を防衛省の内部組織である審議会に行わせることの妥当性について、各参考人の見解を伺う。
- ・幹部職任用における情実人事・党派的人事防止の観点から、政府案をどのように評価するか、飯尾参考人、田中参考人及び晴山参考人の所見を伺う。

柿澤 未途君（みんな）

- ・国家公務員に対する労働基本権の付与については、論者によって権利内容や付与の目的が異なっているのが現状であるが、各参考人の所見を伺う。
- ・国家公務員に労働基本権を付与した場合の人事院の在り方について、飯尾参考人、長谷川参考人及び田中参考人の所見を伺う。
- ・天下り規制に関して、事前規制を復活させるべきかどうかについて、田中参考人及び長谷川参考人の所見を伺う。
- ・天下り根絶のため、独立行政法人における現役国家公務員の出向ポストを全廃すべきと考えるが、飯尾参考人及び長谷川参考人の所見を伺う。